

株主メモ

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月
基準日	定時株主総会関係 毎年8月31日 期末配当金受領株主確定関係 毎年8月31日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ただし事故その他のやむを得ない事由により電子公告を することができないときは、日本経済新聞に掲載する。 公告掲載URL https://www.saizeriya.co.jp/
株主優待制度	あり

【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きについて、詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 サイゼリヤ
〒342-0008 埼玉県吉川市旭2番地5

最新の店舗情報は弊社のホームページをご参照ください



第50期 年次報告書

2021年9月1日～2022年8月31日



Saizeriya
RISTORANTE E CAFFÈ

我々が目指す姿

La Buona Tavola!

(ラ・ブォーナ・ターボォラ)

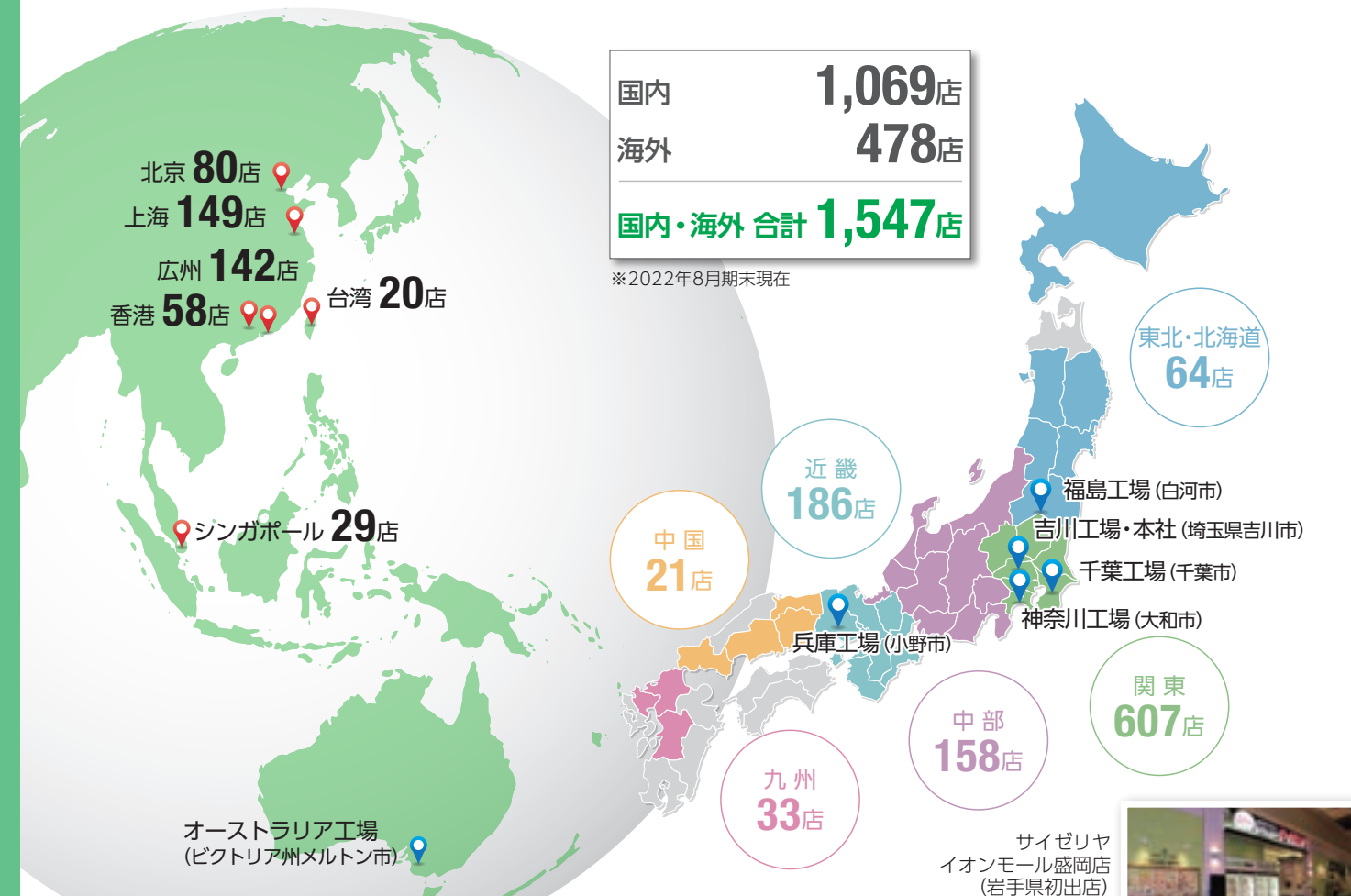
…楽しい食卓

お客様、働く人すべてが
楽しく幸せになる店を目指します。

経営理念

基本理念

- 人のため
- 正しく
- 仲良く



新店舗続々オープン!

- | | |
|----------------------------------|--|
| 2022/ 9/21 【大阪府】 サイゼリヤアリオ八尾 | 2022/11/16 【大阪府】 サイゼリヤイオンスタイル東淀川 |
| 2022/10/21 【秋田県】 サイゼリヤ秋田OPA | 2022/11/24 【栃木県】 サイゼリヤ宇都宮トナリエ |
| 2022/11/ 1 【千葉県】 サイゼリヤビックカメラ千葉駅前 | 2022/11/30 【神奈川県】 サイゼリヤサミットストア踊場駅前 |
| 2022/11/ 4 【岩手県】 サイゼリヤ盛岡フェザン | 2022/12/ 1 【島根県】 サイゼリヤゆめタウン出雲 (島根県初出店) |





代表取締役会長
正垣 泰彦



代表取締役社長
松谷 秀治

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響をはじめ、資源価格の高騰と円安による食材価格やエネルギー価格のさらなる上昇リスク、海外からの輸送問題による原材料確保のリスクなどにより、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、新たな販売チャネルとして、冷凍食品の販売強化を継続して行っております。また、新商圈店舗として、2021年12月には、北海道旭川市、秋田県、2022年1月には、鳥取県、2022年6月には、岩手県に出店いたしました。2022年8月には、立地環境の変化に伴い、既存新業態8店舗全店を閉店いたしました。2022年5月には、当社技術の販売を行う株式会社CSSTを設立いたしました。

これらの取り組みの結果、当連結会計年度の売上高は、1,442億75百万円(前期比14.0%増)、営業利益は4億22百万円(前期は22億64百万円の営業損失)、経常利益は107億74百万円(前期比211.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は56億60百万円(前期比220.6%増)となりました。

今期は、食堂業の産業化に向け、ハード・ソフト両面での革新を推し進めてまいります。

主な取り組みとして、より多くのお客様をお迎えできる店舗の人材の確保と育成、各商品の磨き上げによる提供品質向上、店舗作業システムも含めたDX推進による生産性のさらなる向上に注力してまいります。また、フードロスの削減、エネルギーの効率化による省エネ、プラスチックの再利用等、SDGsに取り組み、ESGを重視した経営活動を行ってまいります。

～「真のチェーンストア」に向かって行きます～ 代表取締役社長 松谷 秀治

● 組織

～チェーンストアらしい組織への改革～

チェーンストアの組織への第一歩として、1,000以上ある店舗が決まりどおり実行しているかどうか教育すると同時に、店舗での問題点を拾い上げていく潤滑油的な役割であるトップ直属の「ラインスタッフ」をつくります。問題点を集中させることで、問題解決のスピードを上げていく組織に変えてまいります。

● 商品

～価値ある商品へのさらなる磨き上げ～

お客様の「毎日の暮らしを豊かにする」ために、メニュー開発の中でも特に重要なのは、サラダ、パスタ、ピザ、ドリアなど核となる商品です。現状に満足することなく更に改良を進め、商品の価値を保てる価格設定を保ちながらも、頼みやすく、組み合わせやすく、食べやすい商品を追求してまいります。

● 作業

～店舗作業の単純化と標準化～

生産性を高めていくためには作業そのものを変えていく必要があります。お客様に喜んでもらい従業員が楽になるためにDXも積極的に進めてまいります。また自社工場ではさらなる生産管理技術の向上を目指し、製造直販の強みを活かして、店舗が楽になるような製品開発を進めてまいります。

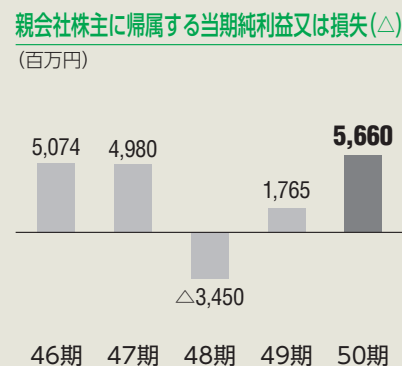
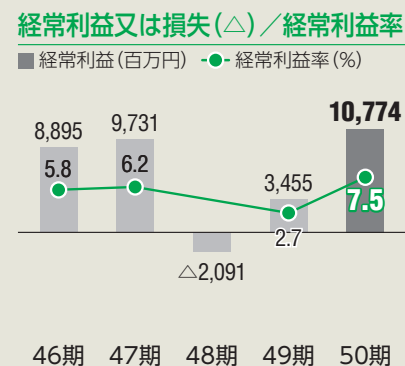
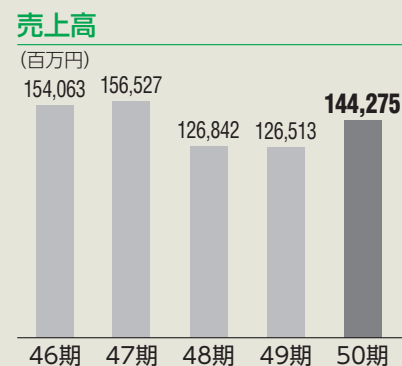
新社長ごあいさつ

このほど代表取締役社長に就任いたしました松谷秀治です。店舗数は10店舗ほどの1984年に入社し、黎明期から成長期、上場に至るまで変化の中で様々な経験を積んでまいりました。新型コロナウイルス感染症をはじめ、未曾有の状況の中での船出となりますが、これまでの事業基盤と成長路線を継承するとともに、私がこれまでに培った経験や知識、人脈などを総動員して、真のチェーンストアに向けて皆様のご期待にお応えできるよう全力を尽くしてまいります。

代表取締役社長 松谷 秀治

1984年6月当社入社、1995年3月資材部長、1996年11月取締役就任、2008年11月 店舗運営本部長、2010年11月 取締役執行役員就任、2012年9月マーチャンダイジング本部長、2018年12月戦略インフラ本部長、執行役員就任、総務本部長、2022年9月社長執行役員就任、2022年11月代表取締役社長就任。

	第46期 (2018年8月期)	第47期 (2019年8月期)	第48期 (2020年8月期)	第49期 (2021年8月期)	第50期 (2022年8月期)
売上高 (百万円)	154,063	156,527	126,842	126,513	144,275
営業利益又は損失(△) (百万円)	8,640	9,599	△3,815	△2,264	422
経常利益又は損失(△) (百万円)	8,895	9,731	△2,091	3,455	10,774
親会社株主に帰属する 当期純利益又は損失(△) (百万円)	5,074	4,980	△3,450	1,765	5,660
総資産 (百万円)	104,896	108,970	120,068	138,045	147,930
純資産 (百万円)	83,396	85,177	80,355	83,569	94,523
自己資本比率 (%)	79.1	77.6	66.4	60.1	63.5
1株当たり当期純利益 又は損失(△) (円)	102.69	101.48	△70.84	36.31	115.91
1株当たり配当金 (円)	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00



セグメント別概況

日本 新型コロナウイルス感染症の影響で客数が減少したことや、食材価格及びエネルギー価格が上昇したことなどにより、売上高は1,011億26百万円(前期比17.3%増) 営業損失は21億1百万円(前期は72億10百万円の営業損失)となりました。

豪州 当社で使用する食材の製造等を行っており、売上高は56億90百万円(前期比17.4%増)、営業利益は1億23百万円(前期比80.3%減)となりました。

アジア 先行き不透明な米中関係及び新型コロナウイルス感染症の流行等の警戒感を抱えております。しかしながら、新規出店を進め、店舗数が増加したことなどにより、売上高は431億17百万円(前期比7.2%増)、営業利益は22億34百万円(前期比49.5%減)となりました。

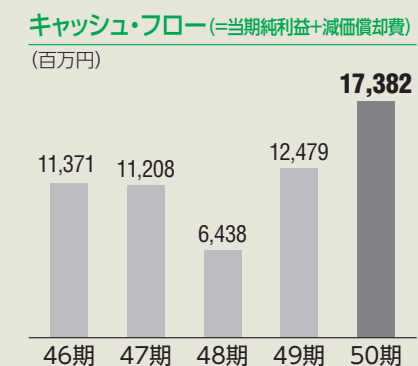
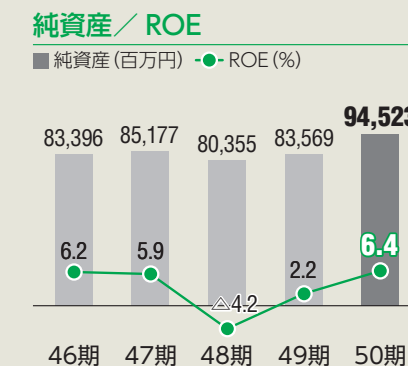
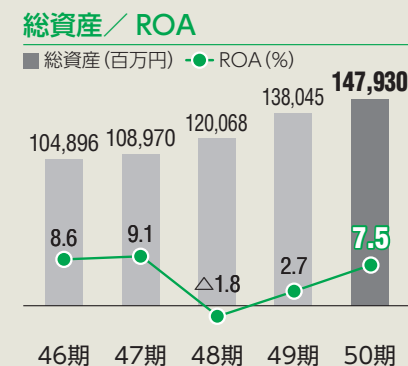
次期の見通し

外食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染者数が収束に向かいつつあるものの、引き続き食材価格及び資源価格の高騰により、厳しい状況が続いていくものと考えております。また、コロナ禍を通して生活様式や消費行動が変化しております。今後デジタル化の加速により経営環境は大きく変化していくと想定されます。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、アフターコロナを見据えた出店戦略、販売戦略を推進してまいります。また、利益体質強化のため、店舗や工場での食材ロスの削減、店舗や工場の設備改善による作業の生産性を向上してまいります。また、閉店した既存新業態に替わる新たなフォーマット作りを継続してまいります。

以上のことから、当社の連結会計年度の業績予想は、売上高1,700億円、営業利益75億円、経常利益73億円、親会社株主に帰属する当期純利益44億円を見込んでおります。

	第50期 実績 (2022年8月期)	第51期 予想 (2023年8月期)
売上高 (百万円)	144,275	170,000
営業利益 (百万円)	422	7,500
経常利益 (百万円)	10,774	7,300
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	5,660	4,400



連結貸借対照表

科 目	第49期 (2021年8月期)	第50期 (2022年8月期)
資産の部		
流動資産	70,042	78,935
現金及び預金	55,332	60,275
売掛金	550	1,089
テナント未収入金	940	1,493
商品及び製品	7,550	10,093
原材料及び貯蔵品	1,368	1,512
その他	4,299	4,470
固定資産	68,002	68,994
有形固定資産	50,953	52,487
建物及び構築物（純額）	25,952	25,482
機械装置及び運搬具（純額）	1,516	1,527
工具、器具及び備品（純額）	4,169	4,086
土地	6,938	6,971
リース資産（純額）	66	57
使用权資産（純額）	11,341	13,669
建設仮勘定	968	692
無形固定資産	412	367
投資その他の資産	16,637	16,140
投資有価証券	259	279
敷金・保証金	10,337	10,547
建設協力金	111	51
長期貸付金	—	30
繰延税金資産	5,744	5,069
その他	196	174
貸倒引当金	△ 12	△ 12
資産合計	138,045	147,930

(単位：百万円)

科 目	第49期 (2021年8月期)	第50期 (2022年8月期)
負債の部		
流動負債	25,445	22,840
買掛金	4,125	5,769
短期借入金	10,000	—
リース債務	4,338	5,779
未払法人税等	746	2,160
賞与引当金	771	930
株主優待引当金	207	218
資産除去債務	268	286
その他	4,988	7,696
固定負債	29,030	30,566
長期借入金	12,500	12,500
株式給付引当金	984	1,114
リース債務	8,093	9,240
繰延税金負債	4	33
資産除去債務	7,299	7,560
その他	148	116
負債合計	54,475	53,407
純資産の部		
株主資本	80,342	85,455
資本金	8,612	8,612
資本剰余金	10,801	10,872
利益剰余金	68,343	73,114
自己株式	△ 7,414	△ 7,143
その他の包括利益累計額	2,570	8,430
為替換算調整勘定	2,570	8,430
新株予約権	656	637
純資産合計	83,569	94,523
負債・純資産合計	138,045	147,930

連結損益計算書（要旨）

科 目	第49期 (2020年9月1日から 2021年8月31日まで)	第50期 (2021年9月1日から 2022年8月31日まで)
売上高	126,513	144,275
売上原価	46,360	53,223
売上総利益	80,152	91,051
販売費及び一般管理費	82,417	90,628
営業利益又は営業損失（△）	△ 2,264	422
営業外収益	6,403	11,020
営業外費用	683	669
経常利益	3,455	10,774
特別利益	108	195
特別損失	970	2,351
税金等調整前当期純利益	2,593	8,617
法人税、住民税及び事業税	1,325	2,132
法人税等調整額	△ 498	823
法人税等合計	827	2,956
当期純利益	1,765	5,660
親会社株主に帰属する当期純利益	1,765	5,660

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

科 目	第49期 (2020年9月1日から 2021年8月31日まで)	第50期 (2021年9月1日から 2022年8月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	12,187	21,841
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 11,048	△ 2,456
財務活動による キャッシュ・フロー	7,428	△ 16,466
現金及び現金同等物に係る 換算差額	1,842	4,625
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,410	7,545
現金及び現金同等物の期首残高	42,320	52,730
現金及び現金同等物の期末残高	52,730	60,275

(単位：百万円)

連結株主資本等変動計算書

第50期（2021年9月1日から2022年8月31日まで）

(単位：百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額		新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	為 替 換 算 調 整 勘 定	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 計		
2021年9月1日残高	8,612	10,801	68,343	△ 7,414	80,342	2,570	2,570	656	83,569
当期変動額									
剰余金の配当			△ 889		△ 889				△ 889
親会社株主に帰属する当期純利益			5,660		5,660				5,660
自己株式の取得				△ 0	△ 0				△ 0
自己株式の処分			70	272	342				342
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						5,859	5,859	△ 19	5,840
連結会計年度中の変動額合計	—	70	4,771	271	5,112	5,859	5,859	△ 19	10,953
2022年8月31日残高	8,612	10,872	73,114	△ 7,143	85,455	8,430	8,430	637	94,523



新商圈に続々OPEN!



2021年12月に北海道旭川市、秋田県、2022年1月に鳥取県、2022年6月には岩手県に新たに店舗がOPENしました。毎日多くのお客様にご来店いただいています。今後も島根県をはじめ、新商圈へ出店し、より多くのお客様に喜んでいただけます。



TPOSにあわせて組み合わせておいしく!楽しく!



年4回のメニュー改定で新商品開発やサラダ、パスタ、ピザ、ドリアなど既存核商品のさらなる磨き上げを行っています。その日の気分でコーディネートできることで、毎日来ても楽しめる豊かさを追求しております。

株主優待制度に関するお知らせ

より多くの株主様に当社株式を長期的に保有していただくことを目的として、右記表の区分により、当社グループ店舗にてお使いいただける御食事券を年1回贈呈いたします。

年1回御食事券贈呈!

優待品内容

割当基準日の保有株式数にて優待内容が決まります。

所有株式数	割当基準日	割当品
100株以上500株未満	8月31日	2,000円御食事券 (500円券×4枚)
500株以上1,000株未満		10,000円御食事券 (500円券×20枚)
1,000株以上		20,000円御食事券 (500円券×40枚)

割当条件

100株以上を継続保有していることを割当条件とさせていただきます。詳細はホームページ「会社情報・IR新着情報」をご確認ください。



会社概要 (2022年8月31日現在)

会社概要

商号	株式会社サイゼリヤ
代表者	代表取締役会長 正垣 泰彦 代表取締役社長 松谷 秀治 (2022年11月29日現在)
本社	〒342-0008 埼玉県吉川市旭2番地5
設立	1973年5月1日
資本金	86億1,250万円
従業員数	正社員 3,939名(連結)
店舗数	1,547店舗 (国内1,069店舗、海外478店舗)

株式の状況

発行可能株式総数	73,208,000株
発行済株式の総数	52,272,342株
株主数	59,771名

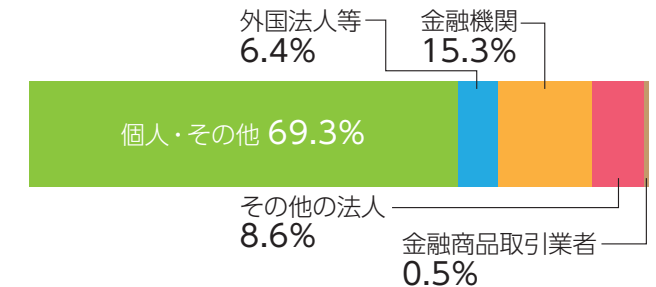
大株主

株主名	所有株式(株)	出資比率(%)
正垣 泰彦	15,248,892	30.79
株式会社バベット	4,255,516	8.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,226,700	8.53
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,268,500	4.58
サイゼリヤ従業員持株会	1,719,343	3.47
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	647,100	1.31
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	350,200	0.71
株式会社千葉銀行	311,885	0.63
BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	299,600	0.60
正垣 恵子	209,707	0.42

役員 (2022年11月29日現在)

代表取締役会長	正垣 泰彦
代表取締役社長	松谷 秀治
取締役	長岡 伸
取締役常勤監査等委員	中嶋 靖雄
社外取締役監査等委員	松田 道春
社外取締役監査等委員	荒川 隆
社外取締役監査等委員	江口真理恵

所有者別株式数分布状況



所有者別株主数分布状況

